社寺建築のモダニズム



髙木相良・匠 父子

日時: 2025年9月13日出、14日间、15日前祝

照厳寺

会 場:福井県立美術館 1階ギャラリー (入場無料)

展示解説: 9月15日/月祝 10:00~11:30

講堂『髙木相良の仕事』(申込不用)

万法寺

髙木相良(1915~2010)は、越前市の真宗出雲路派本山・毫攝寺の門前にて宮大工の家庭で 生まれ育ち、戦後復興期に福井市の合同建築事務所で設計技術を修得しました。独立後、 社寺建築を新たに「鉄筋コンクリート造」で設計する困難な道を切り拓き、福井を拠点に 北海道から九州に至る全国各地でモダニズムの社寺建築美を一貫して創り続け、次世代の 子息・匠(1944~2022)や若手育成に尽力しつつ、独自な建築スタイルを確立したのです。 福井市内の代表作に真宗大谷派「燈明寺」「浄得寺」「福井別院」や真宗高田派「福井別院」、 「神明神社/宝永」など数多く、また伝統木造の社寺建築の修復や実測調査、史料収集も

含めて学術的に重要です。貴重な図面・パース、FRP 型枠など、ぜひご覧ください。

「奥越のモダニズム建築 乾 馨 と 伊藤 貞 」 展

真宗大谷派·福井別院 これまでの

展覧会

第1回 2025 年 4 月 18 日金、19 日生、20 日(日)

第2回 2025 年 5 月 30 日金、31 日出、6 月 1 日田

「モダニズム建築の精華 五十嵐 直雄 」展

高木神社

浄 得 寺